



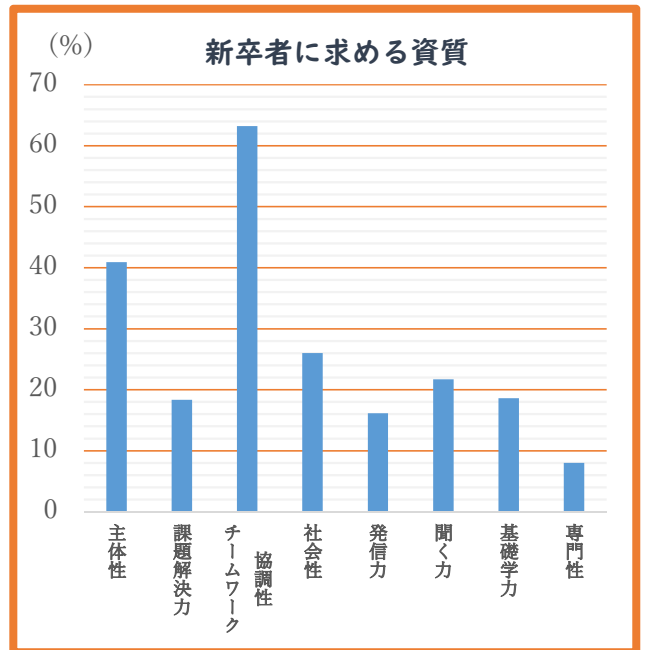
合格者のみなさんへ

合格おめでとうございます。4月から始まる米工生活に期待と不安で胸がいっぱいではないでしょうか。そんな不安を少しでも和らげるため、『米工生が部活動を頑張っている理由』について説明していきます。

社会が求める『資質』とは

米工の進路状況ですが、学年の約7割が就職、約3割が進学となっています。多くの生徒は入学して3年後には社会に巣立っていきます。この3年間のうちに『社会人としての資質』を習得しなければなりません。

右の表は2020年に鳥取県が発表した県内企業に対しておこなったアンケート結果を抜粋したものです。それを見ると企業は新卒者に対して基礎学力・専門性をそれほど重視していません。もちろん、学校推薦で受験するので一定の基礎学力・専門性のある生徒が受験している前提ではありますが、それよりもチームワーク、協調性・主体性・社会性といった試験や履歴書だけでは見えない力を求めていることがわかります。これは2018年に経済産業省が出した『**新社会人基礎力**』（基礎学力や専門知識を最大限に発揮するために必要不可欠な能力）とも共通しています。【下記参照】



- (1) 前に踏み出す力 (主体性・働きかける力・実行力)
- (2) 考え抜く力 (課題発見力・計画力・創造力)
- (3) チームで働く力 (発信力・傾聴力・柔軟性・規律性・状況把握力・ストレスコントロール力)

つまり企業は、どんなに優秀な基礎学力や高度な専門知識・資格があったとしてもそれを**発揮する能力**が備わっていない人物は採用したくないと言っているのです。

部活動を通して『心』を育てよう

企業の人事担当者が『3年間部活動をやり遂げた生徒を受験させてください』とよく言われます。これは部活動を通して、さまざまな問題に直面し、悩み、解決する（小さな挫折を繰り返す）ことによって『**新社会人基礎力**』を身につけていると判断するからです。部活動とは小さな社会（組織）です。年齢差は少ないですが上下関係があり、横の繋がりもあります。そのような環境下でしか培うことができない能力を企業は求めているのです。決して競技力の向上だけが目的ではありません。**最も重要なことは3年間、部活動を継続したかどうかです。**米工生が部活動を頑張っている理由はそこにあります。

右の詩は私が中学校時代に校長先生からよく言われていた言葉です。どんなにきれいな花が咲いていても根が腐っていればすぐに枯れてしまう。大事なことは地中深く丈夫な根（風・雨・雪にも耐える）を生やすことだ。人間も同じで外見だけ装っていても仕方がない。**見えない根=『心』**こそ大切に育てていかなければならない。

合格者のみなさん、米工生の約9割が部活動に日々励んでいます。社会人としての基礎を先輩たちと一緒に築いてみませんか。やり遂げたあとには必ずチャレンジして良かったと思えるはずですよ。

みなさんの入部を楽しみに待っています

